

## 令和元年度 第5回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和元年10月15日（火）15：30～17：10

【場 所】 浜益支所2階庁議室

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 第8期浜益区地域協議会名簿
- 3) 石狩市浜益区公共施設配置検討概要説明資料
- 4) 地域自治区振興事業の成果（3ヶ年総括）について
- 5) 地域自治区振興事業予算要求書集計（浜益支所）
  - 事業予算調書（浜益区民コミュニティ普及推進事業）
  - 事業予算調書（浜益区水産物等普及プロジェクト事業）
  - 事業予算調書（浜益「いっぺ、かだれや」ヘルシーウォーク事業）
  - 事業予算調書（増毛山道トレッキング事業）
  - 事業予算調書（浜益フットパスウォーク事業）
- 6) 事業予算調書（浜益区地域おこし協力隊事業・継続）
  - 事業予算調書（浜益区地域おこし協力隊事業・新規）

【出席者】 12名（15名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
会長	宮田 勉	○	委員	佐藤 晃一		委員	渡邊 真奈美	○
副会長	渡邊 隆之	○	委員	三上 正信		委員	大浦 浩	○
委員	岡本 俊介		委員	阿部 ゆかり	○	委員	寺山 広司	○
委員	久慈 貞子	○	委員	木村 美幸	○	委員	門脇 弥	○
委員	鳴海 翔	○	委員	赤間 香子	○	委員	羽立 裕子	○

（浜益支所） 松田支所長、成田市民福祉課長（併 浜益生涯学習課長）、  
袴田主査、柿崎主査

（事務局） 佐々木地域振興課長、藤巻主査

（石狩市） 加藤市長

（企画経済部） 中西次長、三上主任

（環境市民部） 新岡部長、時崎課長

【傍聴者】 0名

## 【会議次第】

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 委員紹介
- 4 市長あいさつ
- 5 職員紹介
- 6 会長及び副会長選出
- 7 報告事項
  - ①川下・柏木地区の新たな集会施設の検討状況について
  - ②地域自治区振興事業の成果について
- 8 協議事項
  - ①地域自治区振興事業継続の可否について
  - ②令和2年度地域自治区振興事業について
  - ③令和2年度浜益区地域おこし協力隊事業について
- 9 その他
- 10 閉 会

## 1 開 会

## 2 委嘱状交付

### 【佐々木課長】

委嘱状の交付については、誠に恐縮であるが、あらかじめそれぞれの席に配布させていただいているので、ご了承願いたい。

## 3 委員紹介

### 【佐々木課長】

委員の方々から自己紹介をお願いしたい。  
《出席の各委員から自己紹介した。》

## 4 市長あいさつ

### 【加藤市長】

皆さんこんにちは。浜益区の地域協議会の皆様に本日、委嘱状を交付させていただきました。

平成17年に合併をして14年、当時からお住いの皆さんは、苦渋の決断をして、石狩市、厚田村、そして浜益の3団体が一緒になったかと思っている。その後皆様どうですか、14年経過して確かに人口は減少し、高齢化率も高い、でもそこには地域に1,300くらいお住まいの方たちがいる。そこは石狩市であり、石狩市浜益区である。そこにお住まいになっている方たちが、どうしたらもっとこの地域が良くなるのか、住みやすくなるのか、そのことをこの地域協議会で是非とも議論してほしい。それは、地域協議会は、地域自治区がある限り皆様方が、この場で議論をしていただいて、新市建設計画に関すること、基金に関すること、まちづくりに関することを議論していただく場である。例えば経験がない、恥ずかしい、分からないではなく、そこには事務局がある。何でも良い、どうしたら浜益区が良くなるのか、元気になるのか、そのことを皆様方と議論をしていただければ、私ども市として、本当にうれしい。結局、市からの指示、本庁からの指示ではないと思っている。皆様方がこの地域を創るとの気持ちを持って、是非とも2年間、一生懸命議論していただきたい。そしてそこには、お金が必要なものについては、予算付けをすることになる。だから、これを言ったらだめ、恥ずかしいということは、事務局には申し訳ないが、気にせず発言して良いと思っている。そのブレイクストーム的なことから何かが生まれると思っている。是非とも熱い気持ちで、浜益区を盛り上げるため、元気にするために活発な議論を期待している。2年間よろしく願いたい。

## 5 職員紹介

【松田支所長】

- ・改めてよろしくお願ひしたい。3年目になる。ここ数年災害続きであり、今年も全国的に災害が続いているが、浜益は去年、一昨年と比べると少し落ち着いている1年かと思っている。皆様のこの2年間は、そのような心配のない2年であってほしい。
  - ・改めまして、市長から話があったが、忌憚のない議論をさせていただければと思っている。
  - ・以下、当事務局からあいさつをさせていただきたいと思っている。
- 《出席の各職員から自己紹介した。》

## 6 会長及び副会長選出

【佐々木課長】

- ・会長、副会長の選出であるが、どのような方法で選出したらよろしいか。ご意見をいただきたい。

【寺山委員】

- ・推薦でもよろしいか。
- ・会長には宮田勉さん、副会長には渡邊隆之さんが相応しいかと思っているが、皆さんいかがか。

【佐々木課長】

- ・只今、寺山委員から会長に宮田委員、副会長に渡邊委員とのご提案があったが、ほかにご意見はないか。
- 《出席の各委員から異議なしの発言があった。》
- ・ほかにご意見がないようなので、会長には宮田委員、副会長には渡邊委員を選出いたしたい。よろしくお願ひしたい。
  - ・それでは、会長に選出された宮田会長から一言ごあいさつをお願ひしたい。

【宮田会長】

- ・まず、去る10月12日未明から13日にかけての記録的な豪雨によって、被災された関東、甲信、東北地方の皆様にご心からお見舞い申し上げます。死者、行方不明者を合わせると80名を超え、住宅の倒壊、浸水をはじめ、交通網の分断、水道、電気などの生命、生活に直結する被害も発生した。避難できずに今も救助を求めている方々もたくさんいる。今回のような大災害は、千年あるいは数百年に一度と言われていたが、今や毎年、それも複数回あってもおかしくない。これから北海道は、長く厳しい冬に入るが、今回の台風は、たまたま北海道に偶然に来なかっただけであり、自然災害への日ごろの備えがより重要になっている。自治会の主催する訓練への参加や情報の把握に日々努めていただきたい。被災地の皆様のご一日でも早く普通の生活に戻られるように祈るばかりである。
- ・平成17年の3市村合併から14年が経過し、その時に設置された地域協議会も15年目を迎えた。これまで7期14年にわたり様々な事業を進めてきたが、ご承知のとおり人口の減少は進み65歳以上の高齢者は、実に区民の半数以上となってしまった。地域で会う方からは浜益はいったいどうなるのかとの不安や地域力の減退などを危惧する声を多く耳にする。空き家も増え、きれいにされた解体跡地を見るとついため息が出る。しかし皆さん嘆いてばかりではいけない。祖先が残してくれた家と田畑と豊かな海を守り、大切な家族と楽しく生活していきたい、また、不便だが浜益が良い、人生の最後まで離れたくないと考えているたくさんの方々がいる。周りをよく見ると農家にも浜にも各事業所にも元気な若者が結構いて、地域の祭りや行事を支えてくれている。この方々が今まで以上に誇りを持ち、新しい家庭を築き、いずれは自立した地域の後継者としてずっと残ってくれたら、こんなうれしいことはない。先般開かれた第7期最後の会議では、2年間の取り組みの反省と今後の課題などについて話し合われ、会議では、支所との連携強化、地域住民からの意見、要望の積極的な受け止め、協議会での自由で活発な討論、情報の共有などが重要であるとの結論に至った。これらの具体的な内容については、今後の会議の中で改めて振り返りながら、これからの協議会の活動に活かしていきたいと考えている。
- ・2010年をピークとした少子高齢化は、全国的な傾向であり、このことに伴う様々な問題の取り組みは、大きな政治的な課題でもある。小規模な地域の地域協議会ではあるが、私たちが委員として、務めることとなる第8期は、浜益に暮らす方々のために今何をなすべきか、何ができるのかを区民と一緒に考え、具体的に取組んでいく重要な時期となると考えている。これから2年間、

少しでも浜益の方々の力になれるよう、微力を尽くしてまいりたい。渡邊副会長はじめ、委員皆様のご理解とご協力をよろしくお願いしたい。

## 7 報告事項

### (1) 川下・柏木地区の新たな集会施設の検討状況について

- ・企画経済部企画課から配布した資料に基づき、現段階での状況について説明を行った。

#### 【中西次長】

- ・先週、10月10日、柏木、川下の自治会の皆様にお集まりいただき、今の状況をご説明させていただいた。
- ・現在3つの案で検討しているとの中間報告である。1か所目は、現はまます保育園の敷地、2か所目は川下海浜公園の敷地、3か所目は、浜益温泉の敷地の市有地を対象として検討を進めている。
- ・検討状況は、それぞれの場所のメリット、デメリットがある。
- ・説明会では、できるだけ速やかに建設を進めること、川下、柏木それぞれに建設することの希望があったが、中間的な位置にある川下海浜公園敷地にできるだけ早く建設できる状況であれば、川下海浜公園敷地との意見もあった。
- ・ここ数日の台風の影響で、各地域で災害があり、行政側としては、災害のエリアに建設するのはシビアに考えるところもあるが、地域としては、災害より普段使いを優先して考えてほしいとの意見もあった。
- ・今後については、来月、浜益での自治懇話会が開催され、これまで各自治会から色々な要望が出されていた経緯もあり、ご意見をいただき、その後、協議会において改めて次の方向性をお示しする。

#### 【宮田会長】

- ・委員の皆様から、質問、その他確認したい事項、気が付いた事項等があれば、発言をお願いしたい。

#### 【羽立委員】

- ・この説明会に皆さん興味を持っていたかと思うが、どのくらいの参加人数だったのか。

#### 【中西次長】

- ・23名、両地区とも半々くらいだった。

#### 【久慈委員】

- ・川下公園敷地内となった時には、具体的な場所は、公園のどこになるのか。

#### 【中西次長】

- ・釣穫調査のプレハブが設置されているところである。

#### 【渡邊委員】

- ・追加してほしい施設がある。浜益の母親方が望んでいる公園設備を作してほしい。

#### 【中西次長】

- ・前段で支所の職員等と話を進めた中で、地域振興に役立つようなエキスを加えながら、やっていくのはどうなのかとの話はしていたが、今のところは、まだどこにとの場所の選定かと思っている。

#### 【渡邊委員】

- ・海浜公園の場所は、子供を連れて遊ぶ、散歩する場所となっている。車も来なくて遊びやすいので、その場所に建設するならお願いしたい。

#### 【中西次長】

- ・作ると決めた段階で、また相談、協議がされるかと思う。

**【羽立委員】**

- ・今の遊具の件、是非、忘れないで。これは長年、お願いしていることなので、これを機に再考していただきたい。

**【中西次長】**

- ・実際、建設することになれば、パブリックコメントを含めて、地域の方々の意見を聞く場を設けることになる。引き続きお願いしたい。

**【松田支所長】**

- ・地域協議会でも話しているように、この話はこれとセットではないが、過去から話題になっていることなので、支所のサイドも無視しないで、具体的な検討の中に入れていけるように努めてまいりたい。

**【宮田会長】**

- ・集会施設の件については、今後、具体的になる段階で、それぞれ住民からの意見を聞く機会が設けられるとのことなので、その中で意見を述べていただき、また反映していただきたい。

(2) 地域自治区振興事業の成果について

- ・浜益支所地域振興課から配布した資料に基づき、3年間の成果について説明を行った。

**【柿崎主査】**

- ・増毛山道トレッキング事業は平成 28 年に浜益区幌から増毛町別刈間の山道の再生が完了したことから、観光資源として活用するため、トレッキングで交流人口の拡大や歴史的な地域資源としての魅力向上を目的として平成 29 年度からスタートし令和元年度で3年目を迎える。
- ・NPO 増毛山道の会が母体となって活動しているトレッキング事業のうち、こがね山岳会が実施する初級から上級の3つコースに振興基金が活用された。
- ・コースそれぞれ20名程度の定員を設定し、合計60名の方が参加された。
- ・主な支出の内容といたしましては、同行するガイドへの報酬やバスの賃借料、参加者への参加賞のほか、事故などリスク回避や山道の保全管理のための消耗品等に支出された。
- ・昨年の11月に濃昼山道とともに北海道遺産に登録されたことから、増毛町や石狩市の住民のみならず道民の遺産として貴重な地域資源となった。
- ・増毛山道の会は札幌市の地下歩行空間でのPRのほか、フォーラムの開催なども継続的に行っており、土木遺産としての価値が広く知れ渡ることにより、今後も多くの来訪者が期待されている。

## 8 協議事項

(1) 地域自治区振興事業継続の可否について

- ・報告事項(2)での説明に基づき、協議した結果、了承した。

**【宮田会長】**

- ・委員の皆様のご意見等があれば、発言をお願いしたい。

**【渡邊副会長】**

- ・ようやく3年間、その前には笹刈りも実施している訳だが、北海道遺産にも登録され、ようやく軌道に乗りかけてきたところなので、今後とも引き続き支援したほうが良いと思う。

**【寺山委員】**

- ・北海道遺産とのことだか、この参加者は、区民以外の方はどのくらいなのか。

**【佐々木課長】**

- ・ほぼ、区外の方である。

【渡邊副会長】

- ・本当は、参加した方が、浜益に来ての効果、影響がどの程度あるのか、その部分もこれから期待できれば、より良いと思う。

【渡邊委員】

- ・区内には告知しているのか。

【柿崎主査】

- ・区内、区外と限定しないで、NPO法人の増毛山道の会が発信をし、過去に参加した方にはダイレクトメールを送ったりし、参加者を募集している。ちなみにこがね山岳会のメンバーは、現在21名である。

【鳴海委員】

- ・31年度のリピーターと新規の割合はどうか。

【柿崎主査】

- ・実際、まだまだ認知度が低く、今までに関わっていただいた方や留萌振興局からの紹介がメインで参加している。

【渡邊委員】

- ・続けるのは良いが、地元の方が知らないのは、少し問題かと思う。

【柿崎主査】

- ・実際のところ、渡邊こがね山岳会長の活動している姿が、見受けられるが、事務局は体育協会の職員が張り付いて、石狩市内の参加者の呼びかけも行っており、各振興局が、ガイド育成事業を行っていることなどもあるので、我々観光担当として、増毛山道の存在を地元の方が知らないとの部分もあるので、そこの情報発信も強く進めたいと思っている。

【羽立委員】

- ・トレッキングには参加したことがないが、やはり、浜益の方が、まず経験する、それを知ることが大事なのかと思った。是非、続けてほしいと思うが、より浜益の方に知っていただき、トレッキングをしていただいて、その良さを伝える。そこからだと思う。

【佐々木課長】

- ・地元の関わり、地域への波及効果について意見が出されたが、この事業の課題でもあることから、予算的に継続を了承いただけたら、情報発信を含めてその点を支所として、考えていきたいと思っている。

【宮田会長】

- ・新聞、広報等でもたびたび掲出されているので、結構認知度も高くなっていると思うが、更にPRをお願いしたい。

【大浦委員】

- ・今年度、8月、9月、10月と3日間、実施されたようだが、日程は、渡邊こがね山岳会長と相談して、増やすことが可能なのか。

【成田課長】

- ・私も増毛山道の会の会員だが、この山道は一般の登山道と違い、誰もが自由に入山できない。現在は増毛山道の会が、入山届を国や道に出しているのですが、公式には、増毛山道の会に届出しなければ、入山してはいけないこととなっている。
- ・入山するための登山口が山の奥であり、車で送迎が必要なため、この開催回数、人数が正式なトレッキング、基金事業としての規模である。

- ・この人数を飛躍的に増やすためには、たくさんのガイドが必要である。なかなかガイドボランティアが揃わないので、これがぎりぎりの開催可能な規模となっている。
- ・このトレッキング事業とは別に増毛山道の会に申し込みすると届出を行っていただけるので、個人的な規模でのトレッキングは可能である。
- ・登山口から浜益御殿までは2時間を要するが、黄金山よりも楽な気がする。傾斜が緩く歩きやすい。この3年間で笹刈りをし、以前と比べすごく歩きやすくなっている。浜益御殿までは割とハイキング気分で登ることができる。そこから先は険しいところがある。

**【大浦委員】**

- ・中学校でも登りたいと考えている。

**【成田課長】**

- ・サポート体制が整えられれば、可能である。

**【門脇委員】**

- ・熊対策はどうなっているのか。

**【成田課長】**

- ・自分自身で身を守るしかない。

**【宮田会長】**

- ・この件は、事業としては年3回程度と捉えて、また、個人、グループで希望があれば、増毛山道の会を通じて、許可、サポートを受けながらできるとのことである。希望があれば、是非、連絡していただきたい。

**【宮田会長】**

- ・この事業に関しては、次年度以降も3年間継続することを確認して、よろしいか。  
《出席の各委員から異議なしの発言があった。》

(2) 令和2年度地域自治区振興事業について

**【藤巻主査、袴田主査、柿崎主査】**

《浜益区民コミュニティ普及推進事業、浜益区水産物等普及プロジェクト事業、浜益「いっぺ、かだれや」ヘルシーウォーク事業、増毛山道トレッキング事業、浜益フットパスウォーク事業の主な内容について説明した。》

**【宮田会長】**

- ・この5つの事業について、委員の皆様のご意見等があれば、発言をお願いしたい。
- ・コミュニティ普及推進事業、区民カレンダーは、皆様、毎年重宝して利用されているかと思うが、ほかの全体の事業について、意見等あれば、発言をお願いしたい。また、各事業をレベルアップするアイデアもあれば、発言をお願いしたい。

**【渡邊委員】**

- ・カレンダーの仕様をエコな感じに変えられないのか。使い終わった後にリングの部分を分別するのが大変である。

**【藤巻主査】**

- ・リングでなければならないという方が結構いる。実は、このリングの部分が高上りになると業者から言われている。それは、印刷業者から別の業者に委託をしているからとのことである。一度、リングをやめたことがあったが、その時に区民の方から批判的な意見が多く、リングに戻した経緯がある。委員のおっしゃることも分かるが、全体的な区民の意見としては、リングでとの意見が多い。

【渡邊委員】

- ・一度、変えたのは何年ごろなのか。

【藤巻主査】

- ・定かではないが、担当になった時に引継ぎを受けた。

【羽立委員】

- ・針金のリングはなぜ必要なのか。

【藤巻主査】

- ・見やすいとの意見である。

【久慈委員】

- ・カレンダーは必要だ。

【宮田会長】

- ・カレンダーがなければ困る。

【赤間委員】

- ・以前浜益に住んでいた方もほしいと言っているのも聞いている。やはり、写真もよい。

【宮田会長】

- ・カレンダーは、浜益区民にとって、ロングヒットの一等作品である。

【渡邊副会長】

- ・このカレンダー一冊で、ほとんどの用が足りる。この先も是非、続けていただきたい。

【宮田会長】

- ・アイデアを取り入れながら、良いカレンダーを製作していただきたい。
  - ・令和2年度の地域自治区振興事業をそれぞれ説明いただいたが、この内容のとおり予算要求することよろしいか。
- 《出席の各委員から異議なしの発言があった。》

(3) 令和2年度浜益区地域おこし協力隊事業について

【佐々木課長】

- 《浜益区地域おこし協力隊事業継続・新規主な内容について説明した。》

【宮田会長】

- ・来年度に募集する1名についての業務、目的は、どのように考えているのか。

【佐々木課長】

- ・今後、色々と候補者探しの活動をする中で、具体的に見つけていくのも一つだが、まず浜益の魅力、可能性を紹介しながら、それを活用して地域おこし全般にできる方を探したいと思っている。

【宮田会長】

- ・新聞記事にも掲載されていたが、定住する方もいるが、途中でやめて、離れていく方も多くいる。受け入れる自治体、地元の目的が曖昧だと書かれていた。また、長い目で隊員を育てる等、地域の受け入れ方が大事だとも書かれていた。是非、区民の皆様も長い目で育てていただければと思っている。そして最終的に定住していただける方向に進めていければと思っている。是非、良い人材が来てくれることを望んでいる。



- ・地域おこし協力隊事業について、委員の皆様のご意見等があれば、発言をお願いしたい。

【門脇委員】

- ・この事業は、国からの補助でなかったか。

【佐々木課長】

- ・補助金ではないが、全額特別交付税の財源措置がある。

【門脇委員】

- ・地域振興基金充当か。

【藤巻主査】

- ・一度市で支出するが、後ほど国から交付されるとイメージすると分かりやすい。

【門脇委員】

- ・基金は関係ないのか。

【佐々木課長】

- ・関係ないが、地域協議会でも話題にしながら、募集については進めていきたいとのことで、予算として説明した。

【宮田会長】

- ・来られる方も色々な性格の方もおり、もちろん、不安を持って来られる方も多いと思う。是非、皆様に受け入れ態勢を考えながら、育ててほしいと強く思っている。
- ・地域おこし協力隊事業について、提案のとおり進めていくことで確認してよろしいか。  
《出席の各委員から異議なしの発言があった。》

## 9 その他

(1) 「浜益！秋の魅力たっぷり旅」について

- ・渡邊委員から情報提供があった。

【渡邊委員】

- ・10月19日にモニターツアーが実施される。40名程度浜益を訪れる。
- ・ツアーの内容は、地域の協力の下、木村果樹園でバーベキュー、豊漁太鼓の演奏の鑑賞、郷土資料館や陣屋跡の見学をする。
- ・ツアー会社は、浜益観光まちづくり推進協議会メンバーの石狩市のアミーケインターナショナルである。

(2) 「地域の魅力発信！移住&地域との関わり創出フェア」参加について

- ・浜益支所地域振興課から情報提供した。

【佐々木課長】

- ・先ほど、新年度予算の要求の中で説明した、地域おこし協力隊員の追加採用に向けた試みとして、11月17日の日曜日、横浜で開催される、「地域の魅力発信！移住&地域との関わり創出フェア」に、浜益区から6名で参加する。
- ・今回参加者は、若手農業者の、岡本さん、坂本さん、現役隊員の柿岡さんのほか、支所職員、私のほか2名である。また、岡本さんと坂本さんは、「わかもん会」としても地域で活動しているので、そういった観点からも来場者に情報提供できれば良いと考えている。
- ・ほかに、今回、漁協青年部長の鳴海さんもお誘いしたが、残念ながら日程が合わなかった。また次の機会があれば、ぜひ参加していただきたいと考えている。

- ・フェアでは、浜益の魅力を一人数でも多くの方に伝えるとともに、岡本さんや坂本さんの力も借りて、浜益区地域おこし協力隊として、どんな仕事が行われているのか、また、どんな地域おこしの可能性があるのかなど、具体的に意見交換してきたいと思っている。
- ・参加結果については、またこの地域協議会の場で報告したいと思っている。

(3) 「北前船寄港地フォーラム」について

- ・浜益支所浜益生涯学習課から情報提供した。

【成田課長】

- ・10月20日に北前船寄港地フォーラムが、石狩市の花川北コミセンで開催される。そのオープニングとして浜益の沖揚げ音頭保存会、浜益小劇場が沖揚げ音頭のパフォーマンスをする。
- ・浜益小学校と浜益中学校の児童生徒全員が出演する。持ち時間は20分であるが、その中で工夫しながら沖揚げ音頭を披露する。
- ・沖揚げ音頭は、日本遺産に認められ、これからは今まで以上にこの価値をPRできるかと思っている。

(4) 「浜益音頭」の継承について

- ・羽立委員から情報提供があった。

【羽立委員】

- ・浜益音頭の保存会を立ち上げたいと思っている方がいる。
- ・例えば、ふるさと祭りなどで、この素敵な踊りを披露できたらと思っているが、人数的にどの程度協力が得られるのか分からないが、継承ができるなら、なくさないようにこの踊りを続けていくことが大事なことだと思っている。

(5) 「1日防災学校」について

- ・宮田会長から情報提供があった。

【宮田会長】

- ・10月23日に浜益中学校の授業で1日防災学校が開催される。申し込みされている方もいるかもしれないが、時間がある方は、是非、参加していただければと思う。

○ 次回の開催日程について

【佐々木課長】

- ・令和元(2019)年度第6回の協議会は、後日改めて通知する。

10 閉 会

令和元年11月6日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 宮 田 勉